



みなさんの活躍
紹介します

人権擁護委員
法務大臣表彰受賞

すべての小中学校で 人権教室を実施できた ことが一番の喜び

人権擁護委員

なかじま いわお
中島 巖 さん



平成18年に千歳中学校校長を退任されたのち、平成22年から14年にわたり人権擁護委員として人権教室の拡充や人権啓発活動に尽力。その功績が認められ10月23日、法務大臣から人権擁護委員法務大臣表彰を受けた。

市内には、法務大臣の委嘱を受けた10人の人権擁護委員が活動しています。人権の大切さを知ってもらうため、街頭啓発や小中学校で行う《人権教室》、《人権の花運動》などの啓発活動、人権に対する相談活動を行い、10月に法務大臣表彰を受賞された中島 巖さんにお話を聞きました。

「私は、平成22年から今日まで14年間、主として小中学校で行う《人権教室》の充実に力を注いできました。就任当初は、わずか数校でしか実施できなかった人権教室が、平成25年以降、市内すべての小中学校でできるようになったことが一番の思い出であり、喜びです。人権教室では、子どもたち

が真剣な眼差しで説明を聞き、自分の考えを進んで発表してくれまます。そんな子どもたちから、いつも《ヤル気》と《元気》をもらっています。人権教室が定着したのは、平成25年に千歳市・教育委員会・人権擁護委員の三者が連携して、子どもの人権啓発のための体制として《千歳市人権擁護委員協議会》を発足させ、各学校も協力してくれたことによるものです。協議会の事務局を担当している市民生活課の担当者をはじめ、ご支援をいただいている多くの皆さま方に感謝とお礼を申し上げます。

今後この体制を基盤に、人権擁護の活動を充実させていきたいと思っています。市民の皆さまにもご理解とご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。」



先生、教えて!



加熱式たばこは安全なの?



市立千歳市民病院
内科医師 濱田 邦夫

今月号では、《加熱式たばこ》についてお話しします。

みなさん、北海道ではがんで亡くなる方が全国平均よりはるかに多いことをご存じですか。

令和3年度における60歳から79歳までの10万人当たりのがん死亡者数は、男女合わせた全国平均は2215人ですが、北海道は367人多い2582人でした。

この差は北海道での高い喫煙率を反映していると考えられます。喫煙率は年々低下していますが、一方で、加熱式タバコの販売量は増加しています。

タバコ会社は加熱式タバコの安全性をうたっていますが、本当に安全なのでしょうか。

加熱式タバコとは、タバコ葉をヒーターで加熱する蒸気を吸うタイプのタバコです。よく電子タバコと混同されますが、電子タバコは香料などを溶かした液体の蒸気を吸うもので、ニコチンなどのタバコ成分はいっさい含まれていません。

当初、加熱式タバコを発売した会社は、発がん性物質が従来のタバコと比較して90%以上削減され、独自の検査結果からは受動喫煙リスクは無いと考えられるので、一緒にいる吸わない人も安全だと宣伝していました。しかし、そうではないことがその後次々と判明しているのです。今回は、詳しい内容をお話しします。